

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	学校体育大会運営事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 6 項 1 目	事業番号	4940	所属長名	窪田春樹
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	田中富美	
法令根拠等	愛媛県スポーツ振興会規程				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	スポーツ等に親しむ資質や能力の育成と体力の向上に寄与する。						
事業の対象	市内小中学校児童・生徒、各教職員			事業の目的	スポーツ等を振興し、青少年の健全な育成を図る。		
事業の内容 (整備内容)	市内陸上大会及び水泳大会を実施。県内各種体育大会への出場経費の支出。伊予地区学校体育会及び愛媛県スポーツ振興会への負担金交付。四国大会・全国大会出場者への補助金交付。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績	
直接事業費	4,173	4,913	0	0	0	2,885	需用費	千円	182	325	45	155	
財源内訳													
国庫支出金	0	0	0	0	0	0							
県支出金	0	0	0	0	0	0							
地方債	0	0	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0	0	使用料等	千円	2997	2007	302	1354	
一般財源	4,173	4,913	0	0	0	2,885							
職員の人工(にんく)数	0.02	0.02				0.02	負担金及び補助金	千円	2135	2581	1010	1376	
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794							
※ 直接事業費+人件費	4,330	5,069				3,041							
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計			
					10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000			
成果指標	指標						単位		区分年度	前年度	4年度	5年度	目標 毎年度
	指標設定の考え方	スポーツに親しむ資質等を育むことが目的であるため、成果指標は設定しない。				⇒	目標						
	指標で表せない効果	各種体育大会に参加することにより、スポーツを通しての青少年の健全に寄与する事業である。					実績						

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度は、コロナ禍でも感染症対策を行いながらの大会実施に努めようと、事前準備を行っている。また、小学校の市内陸上大会は、運営サイドの負担、教職員の働き方改革を考慮し、伊予地区での開催とする方向性についての模索、協議を検討中である。													
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	中学校の部活動のバス代に相当するものとして、対外運動競技等派遣補助金を拡大することについて、検討を行った結果、旅費実費相当なら可能と判断、当初予算に上乘せ計上、要綱改正を行い、新年度の準備を行うことができた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 本事業は、スポーツの多様な関わりの中で、健康の大切さへの認識や安全に関する基礎的な内容を身に付け、運動に親しむとともに健康保持と体力向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うことを目的とした学習指導要領に基づくもので、更に小・中学校体育連盟や学校体育研究連合会も「生涯にわたる健康の保持増進、豊かなスポーツライフの実現」を目指していることから、事業継続と判断する。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D									
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5~7 : C 3~4 : D									
所属長の課題認識	所属長の課題認識	運動を通じて習得した知識及び技能を活用して課題解決を図ることや、学習した内容を相手に分かり易く伝えることに課題があると言われており、そのことが運動する子どもとそうでない子どもの二極化の所以とも思われる。	こうした中、昨年度に中学校の大会への車借上料を削減し、後援会費で賄う予定であったが、コロナ禍の影響で会費の徴収がままならず、学習の成果を表す大会への参加に影響が出始めたことから、対外運動競技等派遣補助金の見直しによる対応が必要となっている。												

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 中学校の大会へのバス代削減による影響を緩和するため、対外運動競技等派遣費補助金交付要綱を大幅に見直すことにしたことから、次年度は施行後の経過を見守る必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	